

2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 水処理能力（日最大） 294,500 m ³ /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東近 江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 水処理能力（日最大） 52,500 m ³ /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 水処理能力（日最大） 120,750 m ³ /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 水処理能力（日最大） 16,400 m ³ /日	平成9年 4月	高島市

※水処理能力（日最大）は令和2年10月1日現在

事業の実施状況

令和2年度上半期の処理水量は81,650千m³で、前年度同期に比べ4,302千m³、5.6%の増加となりました。

なお、上半期の各処理区の処理水量は、次のとおりです。

（単位：千m³）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
令和元年度上半期	48,874	7,892	18,023	2,559	77,348
令和2年度上半期	51,692	8,437	18,889	2,632	81,650
増減	2,818	545	866	73	4,302

建設改良事業の状況

令和2年度上半期は、浄化センターにおける水処理施設の設備改築更新工事および耐震補強工事、流域幹線管渠工事等を前年度に引き続き実施しました。

経理の状況

予算の補正の状況

令和2年9月定例会議において、一般会計繰入金の増加により事業収益を320千円、機械機器等の修繕費の増加により事業費用を89,495千円それぞれ増額補正しました。また、市町等への負担金返還に令和元年度決算の利益を加算するために資本的支出を191,632千円増額補正しました。

予算の執行状況

令和2年度上半期の予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収支

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)(%)
琵琶湖流域下水道事業収益	21,725,900	320	—	21,726,220	5,078,395	23.4
営業収益	8,758,047	—	—	8,758,047	3,075,500	35.1
営業外収益	12,958,774	320	—	12,959,094	2,002,895	15.5
特別利益	9,079	—	—	9,079	—	—
琵琶湖流域下水道事業費用	21,575,900	89,495	—	21,665,395	2,574,635	11.9
営業費用	20,708,604	89,495	—	20,798,099	2,216,767	10.7
営業外費用	859,821	—	—	859,821	357,868	41.6
特別損失	7,475	—	—	7,475	—	—

●資本的収支

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越(財源充当)額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A)(%)
資本的収入	10,329,200	—	3,733,072	14,062,272	679,000	4.8
企業債	3,013,100	—	956,900	3,970,000	679,000	17.1
出資金	532,966	—	—	532,966	—	—
補助金	5,081,046	—	2,776,172	7,857,218	—	—
負担金	1,683,856	—	—	1,683,856	—	—
固定資産売却代金	18,232	—	—	18,232	—	—
資本的支出	13,717,700	191,632	4,690,185	18,599,517	3,337,164	17.9
建設改良費	8,763,092	—	4,690,185	13,453,277	948,920	7.1
企業債償還金	4,108,160	—	—	4,108,160	2,388,244	58.1
返還金	846,448	191,632	—	1,038,080	—	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、引継金、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

また、以上の予算執行の状況を企業会計原則に従って合計残高試算表にしますと、令和2年9月30日現在では次のとおりです。

●合計残高試算表（令和2年9月30日現在）

（単位：千円）

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
282,615,730	314,990,246	〔資産の部〕	32,374,516	
278,231,264	291,065,607	固 定 資 産	12,834,343	
4,384,466	23,924,639	流 動 資 産	19,540,173	
	17,493,915	〔負債の部〕	279,556,320	262,062,405
		固 定 負 債	48,337,771	48,337,771
	6,878,638	流 動 負 債	9,432,295	2,553,657
	10,615,277	繰 延 収 益	221,786,254	211,170,977
		〔資本の部〕	18,049,565	18,049,565
		資 本 金	1,423,726	1,423,726
		剰 余 金	16,625,839	16,625,839
	308,885	〔収益の部〕	5,387,280	5,078,395
	308,885	営 業 収 益	3,384,384	3,075,499
		営 業 外 収 益	2,002,896	2,002,896
2,574,635	2,574,644	〔費用の部〕	9	
2,216,767	2,216,776	営 業 費 用	9	
357,868	357,868	営 業 外 費 用		
285,190,365	335,367,690	合 計	335,367,690	285,190,365

企業債の状況

令和2年9月30日現在の企業債の現在高は47,756,232千円です。

